

1. 0歳児クラス、5分間隔程度の場合

私たち●●園の●●クラスでは、子どもたちの命を守るために、次のことを実行します。

- ・すべての子どもを、**あおむけの状態**で寝かしつけます（医学的な理由で医師からうつぶせ寝を勧められている場合を除く）。
- ・胸部や腹部が体の下側（うつぶせ）になった子ども、なりそうな子どもは、**あおむけ寝**にします。
- ・体位、呼吸、全身状態を**チェックする職員**を午睡時、最低1人つけます。この職員は午睡時、他の作業をしません。
- ・**5分を目安**として、一人ひとりの体にふれながらチェックし、「●時●分に全員をチェックした」旨、チェック表に記入します。実際にチェックした時間を書きます。
- ・異常（呼吸をしていない、意識がない）に気づいたら、すぐに救急車要請と心肺蘇生を行います。
- ・あおむけ寝にすることや体位を変えることに慣れないお子さんについては、専門家に相談します。

2. 1歳児クラス、10分間隔程度の場合。人数が多く一周10分以上かかる場合

私たち●●園の●●クラスでは、子どもたちの命を守るために、次のことを実行します。

- ・すべての子どもを、**あおむけの状態**で寝かしつけます（医学的な理由で医師からうつぶせ寝を勧められている場合を除く）。
- ・胸部や腹部が体の下側（うつぶせ）になった子どもは、なりそうな子どもは**あおむけ寝**にします。
- ・体位、呼吸、全身状態を**チェックする職員**を午睡時、最低1人つけます。この職員は午睡時、他の作業をしません。
- ・**10分を目安として**、一人ひとりの体にふれながらチェックし、「●時●分に全員をチェックした」旨、チェック表に記入します。実際にチェックした時間を書きます。
- ・異常（呼吸をしていない、意識がない）に気づいたら、すぐに救急車要請と心肺蘇生を行います。
- ・あおむけ寝にすることや体位を変えることに慣れないお子さんについては、専門家に相談します。

3. 1歳児クラス、10分から15分間隔程度の場合。人数が少なく、一周するのに10～15分で十分に余裕がある場合

私たち●●園の●●クラスでは、子どもたちの命を守るために、次のことを実行します。

- ・すべての子どもを、**あおむけの状態**で寝かしつけます（医学的な理由で医師からうつぶせ寝を勧められている場合を除く）。
- ・胸部や腹部が体の下側（うつぶせ）になった子ども、なりそうな子どもは、**あおむけ寝**にします。
- ・体位、呼吸、全身状態を**チェックする職員**を午睡時、最低1人つけます。一人ひとりの体にふれながらチェックします。
- ・他の作業をされていてチェックを忘れることがないように、**タイマー**を使って間隔を測ります。
- ・全員をチェックしたら、「●時●分に全員をチェックした」旨、チェック表に記入します。実際にチェックした時間を書きます。
- ・異常（呼吸をしていない、意識がない）に気づいたら、すぐに救急車要請と心肺蘇生を行います。
- ・あおむけ寝にすることや体位を変えることに慣れないお子さんについては、専門家に相談します。

4. 2歳児クラスでもチェックをするのであれば、同様に書く

[略。年齢の部分を2歳児に変えてください。睡眠チェックのみをするのであれば、最初の2つの項目を削除してください。]

5. 2歳児クラス以上、または3歳児クラス以上

私たち●●園の●●クラスでは、子どもたちの命を守るために、次のことを実行します。

- ・睡眠時の子どもの異常に気がつけるよう、午睡時もクラスに必ず保育者がいます。
- ・異常（呼吸をしていない、意識がない等）に気づいたら、すぐに救急車要請と心肺蘇生を行います。